

四日市版コミュニティスクール報告書（令和2年度総括）

四日市市立三滝中学校

校長 山下 博

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

四日市版コミュニティスクールの指定を受け、「三滝中学校コミュニティスクール運営協議会（以下、『運営協議会』という。）」が発足し、3年目となります。

運営協議会のねらいは、保護者・地域住民の方々が主体的に学校運営に参画し、学校教育活動の充実に向け、学校、保護者及び地域住民が協働して本校の「学校づくりビジョン」の実現を図ることにあります。

そのため本校運営協議会は、授業や行事の参観を通して生徒の実態を把握し協議するとともに、学校教育活動を地域に広める方策や生徒が地域で活動し関わりを深める方策等を話し合い、学校教育活動の深化に向けて取り組んでいます。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

○ 地域の教育力を生かした特色ある教育活動についての実践事例

本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により、例年実施してきた保護者や地域の方々と交流する取組のほとんどが中止となりました。特に生徒が地域行事等へ参加する機会が減ってしまったことは、非常に残念なことでした。

一方で生徒は「取組可能なことにはしっかりと取り組んでいこう」という気持ちが強くなり、以下に報告する取組では、授業等のなかで熱心に活動することができました。

【一人暮らしの高齢者に色紙を贈る取組】

長年継続され地域の方々からも大変喜ばれ、本校の特色ともいえる取組です。本年度は神前地区で取り組まれました。

この取組は、2・3年生の生徒が美術科、総合的な学習の時間、学活などの時間を利用し、地域に住む一人暮らしの高齢者の皆さんを元気づけるために色紙を作製します。その作製した色紙に、校

区の小学生が作った折り鶴を添えました。例年、生徒会福祉委員の生徒が地域の方々のお宅を訪問し届ける取組ですが、本年度は感染症拡大防止の



対策により福祉委員長が地域の民生委員の方に渡す形がとられました。

その後、色紙を手にした地域の高齢者の方から学校へお礼の電話も入りました。

この取組は、地域の介護・福祉施設や一人暮らしの高齢者の方々が生徒たちの来訪を待ちわび、実際に会って喜んでみえる様子が子どもたちの気持ちを高めるものです。また、生徒たちは満足感や充実感を得ることができ、自信につながる取組になっていることから、引き続き、取り組んでいきたいと考えます。



【漢字検定・英語検定の取組】

生徒の学ぶ意欲を持続させるために、本年度は漢字検定を年間1回、英語検定を年間2回実施しました。

いずれの機会にも多くの生徒が受検しており、生徒の意識が高いといえます。この取組では、当日の試験監督をコミュニティ・スクールの委員さんやPTA文化教養部の委員さんが務めてくれ、申し込みの手続きや検定料の管理なども行っていただきました。

このようなバックアップをしていただくことで、継続できている取組となっています。



【川島子ども未来塾】

コミュニティ・スクールの委員長さんを中心に企画され、今回で4回目の開催となった小学生に対する学習支援の取組です。

夏休み中の二日間、地域の方や地元の学生さんたちに交じって中学生も参加し、小学生の補習の支援にあたりました。

夏休み前に各学級で趣旨を伝え有志を募りましたが、各日、20名を超える参加希望者がありました。

当日は、最初、お互いに戸惑いを感じられましたが、年齢も近いお兄さん、お姉さんからの指導に小学生が慣れてきて良い学習の雰囲気ができてきました。中学生の指導にも工夫や積極性が生まれ、中学生にとっても良い学びの場になりました。

最後に、学習支援にあたっていた大学生から中学生に対し、学生生活の



一端を伝えてもらう機会があり、中学生にとっても自身の進路を考えるよい機会になりました。

【地域子ども教室（三滝未来塾）】

本市の『地域子ども教室』の取組として本年度から始まりました。コミュニティ・スクールの委員長さんを中心に立ち上げ、地域の方や地元の学生さんたちに講師をお願いしています。

講師の人数等のこともあり、毎週1回、対象生徒を原則3年生としましたが、毎回10名を超える人数が集まり学習しています。参加する生徒の姿からは、講師の方とのやり取りだけでなく、生徒同士で教え合う姿も見られ、とてもよい雰囲気で行うことができました。

今後、講師の確保や学習支援の対象拡大等が課題となります。



【認知症サポーター養成講座】

地域の民生委員の方々が中心となり、生徒の前で寸劇を交え、認知症について知る事、支援の在り方等考える場面を提供しながら学ぶ時間を作っていただきました。

地域の方々が学校に入り、生徒へ授業をしていただく機会がないことから、集中して取り組む生徒の姿が多くありました。

次年度以降も引き続き来校いただき、学びの場面を提供してもらいたいと考えます。



以上の取組が特に本校の教育活動の特色あるものになります。

(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

本年度は限られた取組にはなりましたが、コミュニティ・スクール委員さんからのご提案等により、多くの生徒たちが取組に参加することができました。これらの取組によって学校・保護者・地域住民の連携・協力は継続できていると考えています。

生徒が地域に出て地域の方々に期待され、活動を褒められることを重ねていく中で、生徒の取組の様子が変わってきています。充実感、満足感が生徒の笑顔や積極性になって表現されることが多くなってきたように感じます。これは、厳しい状況の中にも大きな成果の一つと言えます。

また、「学校だより」を地域の自治会にも回覧し、3年目を迎えました。組長会でも話題にいただき、地域行事に参加している生徒たちへの声かけにもつながる等、より開かれた学校をめざして今後も続けていきたい取組の一つです。

3 今後に向けて

学校は、子どもたちにとってさまざまな活動を通し、失敗や成功の体験を通して気づいたり学んだりする場です。それだけに、子どもたちが安心して登校できる場にしていかなければなりません。

感染症拡大の影響により、今後の見通しが立ちにくい状況にはありますが、引き続き、落ち着いた学びの場を提供できるよう、いじめを許さない学校づくり、学校の様子、地域で活躍する中学生の姿をより多くの人々に周知するためのホームページの活用推進、さらには、地域の力を活用したより多くのゲストティーチャーによる授業や講演会の実施等に取り組んでいきたいと考えています。

そして、より一層、地域、保護者、学校の連携を深めていきたいと考えます。

令和2年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立三滝中学校

委員長 田中 徹

校長 山下 博

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		
5	第1回 運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の様子について ・学校づくりビジョン検討 ・年間計画の確認 ・事務手続き 等
6		
7	第2回 運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・学校公開日（学校の様子について） ・意見交換
8	第1回 漢字検定 川島子ども未来塾	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回漢字検定の実施 ・小学生への学習支援参加
9	地域子ども教室『三滝未来塾』	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生への学習支援活動開始（週1回）
10	第3回 運営協議会 第1回 英語検定 体育大会参観 三滝祭参観	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の様子について ・1学期の教育活動の振り返り ・2学期以降の学校教育活動の予定 ・地域との連携・活動について ・第1回英語検定の実施 ・生徒の活動参観ならびに意見交換 ・生徒の活動参観ならびに意見交換
11		
12		
1	第2回 英語検定	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回英語検定の実施
2	第4回 運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の様子について ・今年度の教育活動の振り返り ・学校関係者評価について ・次年度CS活動について 検討
3	第5回 運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業式参加（田中委員長） ・「活動報告」及び「支出内訳書」の承認 ・様式3「学校関係者評価書」の承認